

事業番号	10 04 06	事業改善シート（令和8年度実施事業分）					☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☒ 補正予算案	☐ 点検
事業名	野生鳥獣保護管理事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課					
		実施期間	S33 ～	E-mail	choju @ pref.nagano.lg.jp					

1 現状と課題

- ・野生鳥獣による農林業被害は、10年間で約4割減となるなど減少傾向にあるが、近年は微増傾向である。
- ・農林業被害防止のためには、緩衝帯整備や誘引物の除去を行う「生息環境対策」、侵入防止柵設置等の「防除対策」、加害個体等を対象とした「捕獲対策」及び「ジビエ振興対策」を組み合わせた総合的な対策が必要となる。
- ・近年、全国的にツキノワグマの目撃数や人身被害件数が増加傾向にあり、県民の命を守り、暮らしの安全を確保するため、部局間及び市町村等関係機関と連携した広域的な被害対策の取組が必要である。

2 事業目的

- ・鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律及び鳥獣保護管理事業計画に基づき、関係者が連携をしながら役割を果たすことにより、人と鳥獣との適切な関係を構築し、生物多様性の確保及び生活環境の保全、農林業被害の軽減を目指すとともに、信州ジビエの活用により、農山村の活性化に資する。

3 事業目的を達成するための取組

①地域が連携して取り組む総合的野生鳥獣被害対策

- ・市町村が取り組む総合的なツキノワグマ対策に対する支援
 - ・捕獲されたツキノワグマのモニタリング調査の実施
 - ・クマ出没等の現場対応にあたる職員の安全装備品の導入
- ※その他の事業は当初予算のとおり

②特定鳥獣保護管理の推進

当初予算のとおり

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし ―：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R8年度	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	農林業被害	千円	774,674	849,948	↘	832,689 (速報値)	↗	751,434	令和5年度の被害額を基準に今後5年間で被害額の-5%を達成するため目標値を設定している ※R6年度実績値を速報値から確定値に更新しました（修正前：829,804、修正後：849,948）
②	ツキノワグマによる人身被害者数	人	12	13	↘	16	↘	0	長野県「県民の命と暮らしを守るツキノワグマ対策」総合パッケージ 1.0に基づき設定している

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
1-1②	人と自然が共生する社会の実現										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計 (予算現額)	うち一般財源	
R8年度	69,565	469,348	30,040	30,040	568,953	104,038	9.9
R7年度	0	504,284	115,377		619,661	240,066	8.0
R6年度	0	407,381	△ 18,398		388,983	99,238	8.0

事業番号	10 04 06	細事業一覧（令和 8 年度実施事業分）			□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検	
事業名	野生鳥獣保護管理事業		部局	林務部	課・室	森林づくり推進課

細事業 No.	細事業名		R6年度 予算現額	R7年度 予算現額	R8年度 予算
1	狩猟対策事業		37,750 千円	107,902 千円	予算現額 63,896 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 8 年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	免許事務費	直接	狩猟の適正化を図るため、狩猟免許試験及び狩猟者登録を実施		
			狩猟免許試験 10地域で実施予定		
2	県営射撃場運営事業	直接	・射撃場の改修工事を実施し、老朽化している県営施設を整備 ・R10開催の第82回国民スポーツ大会のクレ射撃競技の開催予定施設として計画的に整備		
			整備箇所 1 か所（県営総合射撃場）		
3	安全狩猟実技訓練講習事業	委託	狩猟時の安全確保を図るため、第一種銃猟免許保持者及びわな猟免許新規取得者に講習を実施		
			講習会 10回実施予定		

細事業 No.	細事業名		R6年度 予算現額	R7年度 予算現額	R8年度 予算
2	鳥獣保護管理事業		50,379 千円	61,644 千円	予算現額 41,849 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 8 年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	鳥獣保護監視員の任用等	直接	鳥獣保護監視員を配置し、鳥獣保護管理業務を適正に推進するために必要な情報収集等の活動を実施		
			鳥獣保護監視員 127人		
2	特定鳥獣保護管理事業	直接	・専門的立場から適切な特定鳥獣保護管理計画を策定するため、特定鳥獣保護管理検討委員会を開催 ・野生鳥獣の科学的、計画的な保護管理を図るため、第二種特定鳥獣管理計画策定獣種（R 8 はイノシシ）の生息状況等調査を行い、生息状況、被害発生状況の把握と共に被害対策の実施状況等の解析を実施		
		委託	・R 7 年度に実施した調査結果をもとに、第二種特定鳥獣管理計画（第 6 期ツキノワグマ保護管理）を策定		
			特定鳥獣保護管理検討委員会10名、会議 3 回開催		

細事業 No.	細事業名		R6年度 予算現額	R7年度 予算現額	R8年度 予算
3	野生鳥獣総合管理対策事業		294,078 千円	436,672 千円	予算現額 445,525 うち今回 30,040 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	野生鳥獣総合管理対策事業	補助金 直接	・野生鳥獣被害対策を効果的に進めるため、個体数調整報奨金によりニホンジカやイノシシ等の農林業に被害を及ぼす有害鳥獣の捕獲に対する支援を実施 ・市町村等が行う野生鳥獣被害対策に対する経費的な支援を実施 ・ツキノワグマによる農林業被害防止を目的として、市町村が支払うツキノワグマの捕獲報奨金への支援を実施 ・ツキノワグマの専門家派遣による指導・普及啓発の実施や、生息状況・生息頭数の調査の実施、市町村が地域の出没要因や出没時の体制に応じて取り組む対策に対する支援を実施 ・市町村が取り組む「誘引物の除去等のツキノワグマ出沒防止対策」や「人身被害防止活動」等の総合的なクマ出沒対策に対する支援を実施 ・捕獲されたツキノワグマの年齢や食性等の調査・分析を実施 ・クマ出沒時に現場対応に当たる職員の自衛のための安全装備品を導入 クマ専門家派遣210回、支援対象 延べ200団体、捕獲個体調査分析数200頭		
2	野生鳥獣捕獲・管理事業	委託	ニホンジカによる農林業被害軽減のため、警戒心が高まり従来の方法では捕獲が困難となったシカを、効果的かつ持続的に捕獲するため、優れた捕獲技術を有する捕獲者による捕獲実証を実施 センサーカメラ等を活用した効率的な手法による捕獲目標数 50頭		
3	野生鳥獣保護管理体制整備事業	委託	・地域の被害対策における着実な推進と必要な人材の確保を図るため、実践的な研修等を実施 ・市町村が広域に連携することで迅速かつ効果的な被害対策が実施できるよう広域連携に向けた体制を整備 ・行政職員がツキノワグマに関する正しい知識を習得し現場での確な対応ができるよう研修会を実施するとともに、捕獲者の射撃技術及び関係法令理解を高めるため訓練を実施 研修会等の実施 15回、広域連携モデル体制の整備 1地域		

細事業 No.	細事業名		R6年度 予算現額	R7年度 予算現額	R8年度 予算
4	ツキノワグマ被害対策緊急対応事業		— 千円	4,225 千円	予算現額 8,271 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ツキノワグマ被害対策緊急対応事業	直接 補助金 委託	ツキノワグマによる里地での人身被害の発生など、人身被害のリスクが高まった状況において、被害発生個体等へ迅速に対応するため、ドローンの活用やDNA鑑定等の緊急的な対策を実施 緊急的な対策実施箇所数 25箇所		

細事業 No.	細事業名		R6年度 予算現額	R7年度 予算現額	R8年度 予算
5	信州ジビエ総合振興対策事業		6,476 千円	9,218 千円	予算現額 9,412 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州ジビエ総合振興対策事業	直接 交付金	衛生管理の専門家を通じ、食肉加工施設への衛生管理に関する指導を実施安全なジビエを提供するための放射性物質検査を実施 食肉加工施設 2 施設への指導、放射性物質検査 500件		